

おかえりなさい

信州松本を訪ねるのは何年ぶりのことだろう。塩尻峠のトンネルを越えて松本平のみどりが眼にはいると、私の眼は周囲の山々に注がれたまま、そこから動かなかつた。私は窓ガラスに額をつけたまま、窓外の風景に見入った。

私は毎夏信州にゆく。が、それはほとんど軽井沢に限られていて、松本まで足を伸ばすことはほとんどない。まして、旧制高校の頃と同じように汽車で松本にゆくのは、それこそ三十年ぶりではなかつたらうか。

この旅行は、卒業以来お目にかかつていなかった恩師望月先生に会うのが目的である。先生は穂高町に住んでおられる。私をはじめ

て先生をお訪ねしたその故郷の家に、先生は三十年前と同じように夫人と一緒に元気で住んでおられた。なぜかくも長いこと先生をお訪ねしなかつたのか――私の胸は深い悔恨と懐郷(かきまよ)故郷を懐かしく思うこと「岩波国語辞典」の思いに衝かれた。

思えば、私は旧制高校のとき、二度も落第した迷える生徒だった。私は文学を勉強してゆく基準が、長い間つかめなかつた。終戦後の混乱がそれに拍車をかけた。私は迷うのが自分の運命なら、とことんまで迷おうと覚悟した。

その後、どうやらそれへの迷いの霧は晴れ、ようやく文学の仕事に打ち込めるようになった。私が松本に

ようになった。私が松本に來なかつたのも、望月先生をお訪ねしなかつたのも、青春の思い出があまりにも苦しかつたからだ。

八十歳を越えられた先生は、昔と同じように温厚で、ユーモアと皮肉をたつぷり交えた話し方をされた。教室での先生もこうだった。先生はドイツ語を私たちに楽しく教えられた。ドイツ語があんなにわかりやすくなるのは、私にはうそのようだった。先生を訪ねた後、これも三十年ぶりの上高地を訪れた。みどりの森がとても美しかつた。

小鳥の音がぬれたように澄んで響き、梓川の水も水晶のように透明だった。上高地の森と水と小鳥たちは、昔ここを訪ねたときのままで荒れていなかった。河童橋に立つと、時間の流

少年時代

井上 陽水

夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれにさまよう
青空に残された 私の心は夏模様

夢が覚め 夜の中
永い冬が窓を閉じて
呼びかけたままで
夢はつまり 思いでのあとさき

夏まつり 宵かがり
胸のたかなりにあわせて
八月は夢花火 私の心は夏模様

目が覚めて 夢のあと
永い影が夜にのびて
星屑の空へ
夢はつまり 思いでのあとさき

夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれにさまよう
八月は夢花火 私の心は夏模様

れたのがうそのようだった。登山客の人々にすれ違ふと、昔と同じように「こんにちは。」とあいさつを交わしてゆく。私は、運命の促すままに自分の迷

来週の予定: 8月30日(月)~9月3日(金)

◎新時間割がスタートします。一学期と授業の順番が異なるので注意!

| 日 | 曜 | 時程・時間割・行事等 |
|------|---|--|
| 8/30 | 月 | 普通時程 時間割通り 給食開始※白衣準備 1校時:数学夏休明テスト 放課後 スクールバディ |
| 31 | 火 | 普通時程 時間割通り 1校時:道徳 |
| 9/1 | 水 | 普通時程 時間割通り 部活動中止 |
| 2 | 木 | 特別時程 時間割通り 放課後 生徒委員会 |
| 3 | 金 | 普通時程 時間割通り ジャージ登校 5・6校時:総合 ひまわりプロジェクト(収穫) |

いの中を遍歴した。しかし、今こうして恩師と会い、青春の地を訪ねると、恩師も山河も私を温かく迎えてく

保護者の皆様へ

【一】五月二十八日付け第七号の学年通信でお伝えしましたが、各種の奨学金の案内が送付されています。それぞれ、応募資格(生徒本人の成績及び家庭の収入の状況等)や応募締切・貸与額が異なっておりますので、ご希望の方は大至急各担任までご連絡下さい。また、直近の九月当初締切となる、東京都育英資金奨学生の募集については、念のため本通信の裏面にポスターの写しを掲載しておりますので、併せてご覧ください。【二】修学旅行の積立金の返金につきましては、担当者JTBより、来週中に各家庭向けに、案内のプリントを用意するとの連絡がございました。今しばらくお待ちください。